

## 2020年度日本保健物理学会 学会賞(学生研究優秀賞) 受賞の報告

受賞者：仲宗根峻也（理工学研究科 博士後期課程 海洋環境学専攻）

指導教員:古川雅英 教授

**【概要】**

理工学研究科（博士後期課程 海洋環境学専攻）の仲宗根峻也氏が、2020年度日本保健物理学会 学会賞の学生研究優秀賞に選出され、2021年6月21日（月）にオンライン開催された日本保健物理学会・令和3年度企画シンポジウムで表彰された（図1）。

仲宗根氏は、学部3年次後半から博士後期課程の現在まで、沖縄島をフィールドに、環境水（特に湧水）中に存在するラドン（ $^{222}\text{Rn}$ ）やトリチウム（ $^3\text{H}$ ）などの天然放射性核種の時間変動や濃度分布に関する研究に取り組んできた。今回の選考では、今年1月に International Journal of Environmental Research and Public Health (IF:2.849, 図2)に掲載された論文が高く評価された。



図 1. 日本保健物理学会から贈呈さ



図 2. 評価の対象となった論文「沖縄島における環境水中ラドン濃度の時間的・空間的変動」